

2023年度
九州大学大学院総合理工学府
修士課程

第2次学生募集要項

2023年4月入学者選抜

- この募集要項は必ず「志望研究室等調査票記入に関する参考資料」（2022年9月）とセットでお取り扱いください。（総合理工学府ホームページに掲載されています。）
- 出願資格審査を必要とする者（本募集要項の「6. 出願資格審査」の項参照）は、本募集要項の後部にある「出願資格認定申請書」及び「研究従事内容証明書」の様式を印刷し、必要事項を漏れなく記入の上、他の必要書類とともに提出してください。
- 出願書類は本募集要項の後部に関係様式を用意していますので、印刷してご使用ください。なお、様式によっては両面印刷を必要とするものもあります。
- 本年度の入学試験（第2次学生募集）は対面方式で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要と判断した場合には、インターネットを利用したオンライン試験への切り替えを行う可能性があります。選抜方法等に関する最新情報について本学府のホームページ上で随時発信しますので、出願の際には必ず最新の情報を確認してください。また、オンライン試験となる場合には、事前に追加の資料提出を求めることがあります。

2022年9月

九州大学大学院総合理工学府

○修士課程入学者一般選抜第2次学生募集の趣旨

九州大学大学院総合理工学府では、「未来を見据えた物質・エネルギー・環境を融合した学問体系の構築とそれを身につけた人材の育成」を教育研究の目標としています。

本学府は、独立大学院の特徴を生かし、多くの異なる学部・学科の教育を受け、優れた素質を持つ多様な学生を広く受け入れるために、修士課程入学者一般選抜第2次募集を行います。

○総合理工学府の目標と特色

九州大学大学院総合理工学府では、「未来を見据えた物質・エネルギー・環境を融合した学問体系の構築とそれを身につけた人材の育成」を教育研究の目標としています。

急速な科学・技術の発展は豊かな物質文明社会をもたらしましたが、一方で、我々に環境汚染、エネルギー資源の枯渇、食料不足などの地球規模の課題をつきつけています。特に昨今は、少子高齢化、地球環境や経済活動の持続可能性などの社会問題の深刻化が進み、我々人類が経験したことのない課題が出現しています。また、情報化とグローバル化の波が、理工学分野の研究者・技術者に求められる役割を大きく変えようとしています。総合理工学府はこうした社会環境の激変に対応するため、大学院組織改革を断行し、現代及びこれからの環境・エネルギー関連問題の解決に資する理工学系の研究・技術人材の育成に取り組めます。

総合理工学府総合理工学専攻は1学府1専攻体制です。修士課程入学者選抜は、Ⅰ類（物質科学：材料、化学）、Ⅱ類（エネルギー科学：プラズマ、デバイス、量子理工）、Ⅲ類（環境システム科学：機械、システム、地球環境）の三つの区分で実施します。入学後は、教員のサポートのもと、専門力を高めるとともに情報応用力、異分野展開力を習得します。大学院修了時には、六つの専門領域（材料理工学メジャー、化学・物質理工学メジャー、デバイス理工学メジャー、プラズマ・量子理工学メジャー、機械・システム理工学メジャー、地球環境理工学メジャー）のうちいずれか一つを身につけると共に、異分野の理工学系及び応用情報系の知識や技能を併せ持つ研究人材、高度専門技術人材として現代社会での活躍を目指します。

環境・エネルギー問題の解決には、高度な専門力に加え、多様な基礎学力や情報応用力など複数の学問分野の知識が求められます。また、複雑でグローバルな今日的課題を解決するためには、世界中の同分野・異分野の研究者・技術者と議論できるコミュニケーション能力が必要となります。総合理工学府総合理工学専攻では、そのような能力を備えた現代的なスペシャリストを養成します。

※なお、総合理工学府では教育職員免許状（専修免許状）を取得することはできません。

○総合理工学府の修士課程入学者選抜について

総合理工学府は、多様な学修キャリアを持った学生が集い、学府担当教員の約半数を研究所に所属する教員が占め、産学連携も盛んであることを背景に、分野別に画一化された縦割りの教育とは一線を画した教育を行ってきました。この伝統を活かしつつ、総合理工学府はプロジェクト型学習（Project-Based Learning）システムを取り込んだ教育を行います。その教育を推進するための仕組みとして、旧来の専攻間の垣根を取り払い、総合理工学専攻1専攻としました。これにより、産業界に、また国際的ないしは学術的に必要とされる分野の様々な変化に対応した教育が可能となります。

総合理工学府の学生には、専門分野の確たるアイデンティティを持つことに加え、情報科学技術を含む他分野に知識を広げることが求められます。そのため、入学者選抜の実施区分として、“物質”、“エネルギー”、“環境”を主キーワードとする三つの類を設定します。

修士課程入学者選抜では、Ⅰ類（物質科学）、Ⅱ類（エネルギー科学）、Ⅲ類（環境システム科学）の三つの区分から一つを選択し、その類で指定された試験科目を受験することになります。

○類（入試区分）とメジャー（専門分野区分）

Ⅰ類：物質科学

材料工学、材料科学、化学、物質理工学を幹としており、Ⅰ類で入学した学生の多くは「材料理工学メ

ジャー」または「化学・物質理工学メジャー」を選択します。前者は“先端的な材料設計及び材料評価の手法を活用して材料開発を行う研究者・高度専門技術者”を、後者は“物質科学を幹として、境界先端領域において活躍する研究者、高度専門技術者”を育成するための教育を提供します。

Ⅱ類：エネルギー科学

デバイス工学、電気・電子理工学を幹としており、Ⅱ類で入学した学生の多くは「デバイス理工学メジャー」または「プラズマ・量子理工学メジャー」を選択します。前者は“デバイスやシステムに関する科学を駆使して先端領域で活躍する研究者、専門技術者”を、後者は“プラズマや量子科学を駆使してエネルギーから材料までの先端領域で活躍する研究者、専門技術者”を育成するための教育を提供します。

Ⅲ類：環境システム科学

機械工学、地球環境科学、システム理工学を幹としており、Ⅲ類で入学した学生の多くは「機械・システム理工学メジャー」または「地球環境理工学メジャー」を選択します。前者は“機械・システム理工学に関連する科学技術を駆使してサステナブル社会構築のためにグローバルに活躍する技術者・研究者”を、後者は“最先端環境科学技術を修得して地球環境問題解決のためにグローバルに活躍する技術者・研究者”を育成するための教育を提供します。

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び2023年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び2023年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学府において、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達する者
- (11) 次のいずれかに該当する者であって、本学府の定める単位を優秀な成績で修了したと認める者
 - (a) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - (b) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者

(c) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

上記(9)、(10)又は(11)による出願をする者は、出願に先立ち6に記載する出願資格審査を受けなければなりません。

2. 募集専攻及び募集人員

募集専攻	募集人員	総合理工学府ホームページURL
総合理工学専攻	若干名	https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/

3. 願書受付期間

2022年11月4日（金）から11月11日（金）17時まで

※ 出願書類を郵送により提出する場合は、書留郵便等の配達状況がわかる形での提出とし、受付期間内に必着するように発送してください。

4. 出願手続

志願者は、次の必要書類を市販の封筒（大きさ：角形2号 240mm×332mm）に封入の上、封筒表面に「修士課程(第2次募集)入学願書在中」と朱書きして、「5. 提出先」窓口への持参もしくは郵送により提出してください。出願に当たっては、「出願書類提出確認票」（所定様式）を必ず添付してください。

1	出願書類提出確認票	必要事項を記入し、出願書類の一番上に添付してください。
2	願書（様式1）	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入してください。 ※ 両面印刷してください。
3	志望研究室等調査票（様式2）	本学府所定の様式に進学を志望する研究室名等を記入してください。 I類への出願者は、必ず「筆答試験で解答する試験科目」欄も記入してください。
4	照合票・受験票（様式3）	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入し、写真を貼ってください。
5	卒業（見込）証明書	最終出身大学等が発行したもの。 1の出願資格(9)、(10)又は(11)による出願者は事前に提出するので、改めての提出は不要です。
	【該当者のみ】 学士の学位証明書	前頁『1. 出願資格』の(2)前段により出願する者は、最終出身学校等が発行した卒業証明書に加えて、学士の学位証明書を提出してください。
	【該当者のみ】 学位授与申請受理証明書	前頁『1. 出願資格』の(2)後段により出願する者は、最終出身学校等が発行した卒業（見込）証明書に加えて、学位授与申請受理証明書を提出してください。

6	成績証明書	<p>最終出身学校等が発行したもの</p> <p>※高専から大学へ編入した者は、高専の成績証明書も併せて提出してください。</p> <p>※高専専攻科を修了見込みの者は、高専本科の成績証明書も併せて提出してください。</p> <p>※『1. 出願資格』の(9)、(10)又は(11)による出願者は、事前に提出するので、改めての提出は不要です。</p>
7	<p>英語能力認定機関の発行した認定証の原本 (英語能力試験の受験日が、2020年12月17日以降のものに限る)</p>	<p>下記(1)又は(2)のいずれか1つを提出してください。</p> <p>(1) TOEIC L&R 公式認定証 (Official Score Certificate) の原本 ※ここでの「原本」とは、TOEIC運営事務局が発行・郵送したものを指します。 ※公式認定証は、原則として本人の写真入りのものに限りません。 ※出願時に公式認定証の提出が間に合わない者は、出願時にTOEICの受験票の写しを提出の上、入学試験当日に公式認定証の原本を持参してください。 ※出願時より新しい公式認定証の原本を持参しても構いません。 ※提出された公式認定証（原本）は返却しません。</p> <p>(2) TOEFL受験者用控スコア票 (Test Taker Score Report) の原本 ※ここでの「原本」とは、TOEFL運営事務局が発行・郵送したものを指します。 ※出願時に受験者用控スコア票の提出が間に合わない者は、出願時にTOEFLマイページにおいてTOEFL試験を申し込んでいることがわかる箇所のスクリーンショットを紙媒体で提出の上、入学試験当日に受験者用控スコア票の原本を持参してください。 ※出願時より新しい受験者用控スコア票の原本を持参しても構いません。 ※提出された受験者用控スコア票（原本）は返却しません。 ※何らかの事情により、TOEFL受験者用控スコア票の原本を提出できない場合は、TOEFL運営事務局へ公式スコア票 (Official Score Reports) の発行を依頼してください。その際に必要なコードは以下のとおりです。Institution code:0411</p> <p>TOEIC・TOEFLともに、入学試験当日までに公式スコアを確認できない場合は、受験できないことがあります。</p>
8	<p>パスポートの写し (顔写真や国籍等が記載されているページ)</p>	<p>外国籍の者のみ提出してください。</p>
9	<p>在留カードの写し (表・裏)</p>	<p>外国籍で、出願時に日本国に在留している者のみ提出してください。特別永住者は在留カードの代わりに特別永住者証明書の写しを提出してください。</p>
10	<p>受験票返送用封筒</p>	<p>市販の封筒 (大きさ: 長形3号 120mm×235mm) に宛先 (郵便番号・住所・氏名) を記入し、354円分 (速達料金を含む) の切手を貼ってください。</p>
11	<p>判定結果等送付用封筒</p>	<p>市販の封筒 (大きさ: 角形2号 240mm×332mm) に宛先 (郵便番号・住所・氏名) を記入してください。切手貼付は不要です。なお、判定結果等の郵送は合格者に対してのみ行います。</p>

12	入学検定料支払いに関する書類	<p>入学検定料：30,000円</p> <p>欄外に記載の「入学検定料の支払い方法について」を参照の上、入学検定料を納付し、次の (a) 又は (b) のいずれかの書類を提出すること。</p> <p>(a) コンビニエンスストアで支払った場合 『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙（様式4）</p> <p>(b) クレジットカードで支払った場合 『申込内容照会結果画面』をプリントアウトしたもの（A4サイズ）</p>
----	----------------	--

○入学検定料の支払い方法について

入学検定料は、e-支払いサイト（<https://e-shiharai.net/>）へ事前申込の上、(a) コンビニエンスストア、又は (b) クレジットカードにより支払うこと。（海外からの支払いの場合は、(b)のみ。）支払方法の詳細は、本要項に掲載の「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。なお、支払いに関する手数料は、志願者が負担すること。

【 支払い期間 】

2022年10月28日（金）～11月11日（金）

【 入学検定料支払いに関する提出書類 】

(a) コンビニエンスストアで支払う場合

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を「『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙（様式4）」に貼付し、出願書類と共に提出すること。

(b) クレジットカードで支払う場合

「『申込内容照会結果画面』をプリントアウトしたもの」（A4サイズ）を出願書類と共に提出すること。

(注意)

e-支払いサイトにおける手順等に関する質問は、同サイト上の「FAQ」又は「よくある質問」（<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>）を参照した上で、イーササービスサポートセンターへ問い合わせること。

5. 提出先

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6丁目1番地

九州大学筑紫地区事務部教務課教務係

電話（092）583-7512

※問合せ用メールアドレス： srkkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

6. 出願資格事前審査

1の出願資格(9)、(10)又は(11)による出願をする者は、出願に先立ち、資格審査が必要なので、次の書類を5の提出先へ提出してください。

なお、郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒表面に「修士課程（2次募集）出願資格事前審査」と朱書きしてください。

(1) 提出書類

1	出願資格認定申請書 (様式5)	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入してください。
2	推 薦 書	最終出身学校等が作成したもの。推薦書を提出するか否かは志願者の任意とします。（A4判で様式随意）

3	研究従事内容証明書 (様式6)	本学府所定の様式により、所属長又は指導的立場にある者が作成したもの
4	卒業（見込）証明書	最終出身学校等が発行したもの
5	成績証明書	最終出身学校等が発行したもの
6	出願資格審査結果通知封筒	市販の封筒（大きさ：長形3号 120mm×235mm）に郵便番号・住所・氏名を記入し、354円分の切手（速達料金を含む）を貼ってください。

(2) 提出期間

要項発表の日から2022年10月21日（金）17時までの期間

(3) 審査結果

審査の結果については、2022年10月31日（月）までに、申請者あてに通知します。資格があると認定された者は、「4」の出願手続を行ってください。

7. 研究室の志望方法

出願に際しては、総合理工学府の研究室の中から志望する研究室等を選択し、本学府所定の志望研究室等調査票（様式2）に記入してください。研究室名等は第6志望まで書くことができます。

なお、志望研究室は、『受験する類（願書に記入した類）』に属する研究室の中から選択してください。

総合理工学府の研究室および研究内容については、九州大学総合理工学府ホームページ、または「志望研究室等調査票記入に関する参考資料」を参考にしてください。また、本募集要項 [別掲1] に総合理工学専攻の研究室（教育分野）一覧と、今回、第2次募集を行う研究室を掲載しています。[別掲1]において、研究室番号に斜線のある研究室は第2次募集を行いませんので注意してください。

8. 試験期日および選抜方法

(1) 入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査の成績を総合して行います。

(2) 学力検査は、次の日程で行います。

試験日 2022年12月17日（土）

試験科目 筆答試験および面接

※試験科目については下記を参照。類によって試験科目が異なるので注意してください。

試験場 九州大学筑紫地区

※試験時間割、試験室等詳細については、受験票送付の際に通知します。

※受験票の送付は12月上旬頃を予定しています。

筆答試験の科目詳細

類	試験科目	備考
I 類 (物質科学)	願書出願時に以下の選択可能科目から2科目を選択し、1科目につき1題、合計2題を解答しなければならない。 【 選択可能科目 】 ①数学（線形代数・微分方程式）[1]、 ②量子力学[1]、③固体物性学[1]、 ④物理化学[1]、⑤無機化学[1]、 ⑥分析化学[1]、⑦有機化学[1]、 ⑧材料力学[1]、⑨金属材料学[1]、 ⑩高分子科学[1]、⑪化学工学[1] ([]内の数は出題数)	願書出願時に、筆答試験で解答する2科目を志望研究室等調査票において申告すること。なお、申告後の試験科目の変更はできない。
II 類 (エネルギー科学)	数学および専門科目から各1題の合計2題を解答しなければならない。 【 数学 】 『微分方程式』および『微分積分学』から1題ずつ出題される。 【 専門科目 】 『力学』、『電磁気学』および『電気回路（過渡現象論を含む）』から各1題が出題される。	
III 類 (環境システム科学)	【 数学 】 『線形代数』および『微分方程式』から各1題の合計2題を解答しなければならない。	

- (3) 自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった場合は、12月18日(日)に試験を実施することがあります。
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要と判断した場合には、インターネット等を利用したオンライン試験で実施することがあります。この場合の試験方法については、志願者本人宛に別途連絡します。

9. 合格者発表

2022年12月23日（金）12時に九州大学筑紫地区事務部公報掲示板（共通管理棟玄関横）に掲示、及び総合理工学府Webサイト（<https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/>）に掲載します。また、合格者に対しては、後日郵送により判定結果等を本人あてに通知します。なお、総合理工学府Webサイトへの掲載は定刻より遅れることがあります。

10. 入学の時期

2023年4月1日

1 1. 入学手続

- (1) 手続期間：2023年3月1日（水）～3月10日（金）（予定）
- (2) 入学手続に必要な提出書類等については、2023年2月下旬に郵送にて通知します。郵送先は原則として出願時の現住所です。合格後に住所が変わる場合は、必ず『5. 提出先』へ申し出てください。
- (3) 2023年3月になっても入学手続の案内が届かない場合は、必ず『5. 提出先』へ問い合わせてください。
- (4) 入学手続の際に納付する経費等
入学料：282,000円（予定）

（参考）授業料は入学手続時ではなく、入学してからの納付となります。年額535,800円（前期・267,900円、後期・267,900円）（予定）です。

（注）入学料・授業料ともに、上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

1 2. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上において必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を随時受け付けています。受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、2022年10月14日（金）までに『5. 提出先』へ相談してください。

1 3. 注意事項

- (1) 願書受理後は記載事項の変更、検定料の払い戻しなどには一切応じません。
- (2) 受験票未受領者又は紛失した者は、試験開始前までに筑紫地区事務部教務課教務係（筑紫地区共通管理棟1階）で再発行を受けてください。
- (3) 試験場への交通機関
 - ・JR九州鹿児島本線 大野城駅下車 徒歩 約10分
 - ・西鉄大牟田線 白木原駅下車 徒歩 約20分
- (4) その他出願に際して、疑問、不明な点があれば、『5. 提出先』へ問い合わせてください。

1 4. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。
 - ア 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
 - イ 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。
- (2) 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。
- (3) 個人情報の取扱いについては、あらかじめ以下のWebページを確認してください。
<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/disclosure/privacy/>

[別掲1]

『総合理工学専攻の系』、『研究室(教育分野)』および2次募集対象研究室一覧

※ 以下の表では、研究室の研究分野を分かりやすくするために、「系」というカテゴリーを導入しています。
研究室番号は、出願書類作成の際、志望研究室名とともに記入するためのものです。

I 類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category I

系 Section	研究室（教育分野）【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
電子・化学機能 Electronic and Chemical Properties	機能材料物性学【島ノ江・渡邊（賢）】 Theory of Functional Materials【Shimanoe・Watanabe】	I-1
	熱・電子機能物性理工学【大瀧・末國】 Chemistry and Physics of Functional Materials【Ohtaki・Suekuni】	I-2
	機能無機材料工学【永長・北條】 Functional Inorganic Materials Chemistry【Einaga・Hojo】	I-3
	構造セラミックス材料学【張】 Structural Ceramics Materials Engineering【Jang】	
	無機ナノ構造解析学【稲田】 Design and Analysis of Ceramic Nanostructures【Inada】	I-5
	新素材開発工学【徐・山田・上原】 Development of Advanced Materials【Xu・Yamada・Uehara】	I-6
	構造材料物性学【中島・光原】 Structural Materials Science【Nakashima・Mitsuhara】	I-7
バルク機能 Bulk Properties	結晶物性工学【板倉】 Crystal Physics and Engineering【Itakura】	I-8
	量子材料物性学【波多】 Electron Microscopy for Materials【Hata】	I-9
	極限材料工学【橋爪】 Materials Science and Engineering under Extreme Conditions 【Hashizume】	I-10
	材料構造制御学【飯久保】 Materials Structure Design【Iikubo】	I-11
	プロセス設計工学【寒川】 Process Design Engineering【Kangawa】	I-12
	高エネルギー極限物性学【渡邊（英）】 Extreme State Science for Nuclear Materials【Watanabe】	I-13
	プラズマ材料学【徳永】 Plasma Materials Science【Tokunaga】	I-14
	機能物性評価学【大橋・原・坂口（勲）】 Characterization of Material Structure and Properties 【Ohashi・Hara・Sakaguchi】	I-15
表面・界面・材料 デバイス Surface, Interface and Device Properties	表面物質学【中川】 Surface Science【Nakagawa】	I-16
	計算材料科学【辻】 Computational Materials Science【Tsuji】	I-17
	先端機能材料【藤野】 Advanced Functional Materials【Fujino】	

	先進ナノマテリアル科学【吾郷】 Advanced Nanomaterials Science【Ago】	I-19
	KOINEプロジェクト部門【原田（裕）】 KOINE Project Division【Harada】	
	化学反応工学【林（潤）・工藤】 Chemical Reaction Engineering【Hayashi・Kudo】	I-21
	ナノ材料・デバイス科学【斉藤（光）】 Nanomaterial and Nanodevice Science【Saito】	I-22
	ナノマテリアル国際ラボ【柳田・村山・Ho・Yip】 International Laboratory for Nanomaterials 【Yanagita・Murayama・Ho・Yip】	
分子物性科学 Molecular and Materials Science	量子化学【青木】 Quantum Chemistry【Aoki】	I-24
	分子計測学【原田（明）・藪下】 Molecular Spectroscopy【Harata・Yabushita】	I-25
	分子科学【古屋】 Molecular Science【Furuya】	I-26
	生体分子機能化学【村田】 Biomolecular function chemistry【Murata】	I-27
有機合成化学 Synthetic Organic Chemistry	分子・反応設計化学【友岡】 Development of Novel Organic Molecules and Reactions【Tomooka】	I-28
	生命有機化学【新藤・狩野】 Organic Chemistry for Life Science【Shindo・Kano】	I-29
	機能有機化学【國信・森】 Design of Advanced Organic Compounds【Kuninobu・Mori】	I-30
分子材料・プロセス工学 Molecular Materials and Process Engineering	材料電気化学【アルブレヒト】 Materials Science for Electrochemistry【Albrecht】	I-31
	機能分子工学【菊池・奥村】 Molecular Engineering of Functional Materials【Kikuchi・Okumura】	I-32
	高分子材料物性学【横山】 Advanced Polymer Science and Technology【Yokoyama】	I-33
	高分子化学【スプリング】 Polymer Chemistry【Spring】	I-34
	素子材料科学【尹・宮脇】 Device Materials Science【Yoon・Miyawaki】	
	機能有機材料化学【藤田】 Functional Organic Materials Chemistry【Fujita】	I-36

*研究室番号に斜線のある研究室は今回募集をしない。

* We do not accept applications this time for the laboratory number with a diagonal line.

II類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category II

系 Section	研究室(教育分野)【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
デバイスシステム Device Systems	電離反応工学【山形・堤井】 Ionized Gas Dynamics【Yamagata・Teii】	II-1
	光エレクトロニクス【浜本】 Opto-Electronics【Hamamoto】	II-2

	電子物性デバイス工学【吉武】 Electronic Physical Device Engineering【Yoshitake】	II-3
	非線形物性学【坂口(英)・森野】 Nonlinear Physics【Sakaguchi・Morino】	II-4
	機能デバイス工学【王・山本(圭)】 Functional Device Engineering【Wang・Yamamoto】	II-5
	電子システム工学【服部】 Electronic System Engineering【Hattori】	II-6
	パワーデバイス工学【齋藤(渉)】 Power Device Engineering【Saito】	II-7
	電力変換システム工学【西澤】 Energy Electrical Engineering【Nishizawa】	II-8
応用プラズマ・量子 Plasma Application and Quantum Engineering	プラズマ応用理工学【林(信)】 Plasma Science and Engineering【Hayashi】	II-9
	先進宇宙ロケット工学【山本(直)】 Advanced Space Propulsion Engineering【Yamamoto】	II-10
	粒子線物理工学【渡辺(幸)】【金】 Nuclear and Radiation Engineering Physics【Watanabe】【Kin】	II-11
	エネルギー化学工学【片山】 Energy Chemical Engineering【Katayama】	II-12
	量子ビーム理工学【榊】 Applied Quantum Beam Engineering【Sakaki】	II-13
核融合プラズマ Fusion Plasma	核融合プラズマ物性制御工学【井戸】 Fusion Plasma Physics and Control Engineering【Ido】	II-14
	核融合システム理工学【花田】 Fusion Plasma Science and Technology【Hanada】	II-15
	先進プラズマ理工学【出射・池添】 Advanced Plasma Science and Engineering【Idei・Ikezoe】	II-16
	プラズマ科学【田中】 Fusion Science【Tanaka】	II-17
基礎プラズマ Fundamentals of Plasma	核融合プラズマ理工学【藤澤・永島】 Plasma and Fusion Physical Science【Fujisawa・Nagashima】	II-18
	非平衡プラズマ力学【文】 Non-Equilibrium Plasma Dynamics【Moon】	II-19
	プラズマ非線形現象理工学【山田】 Nonlinear Plasma Science【Yamada】	II-20
プラズマ理論・シ ミュレーション Theory and Simulation for Plasma	シミュレーションプラズマ物理学【糟谷】 Plasma Simulation Physics【Kasuya】	II-21
	理論プラズマ物理学【小菅】 Theoretical Plasma Physics【Kosuga】	II-22
	原子・分子・光科学【加藤】 Atomic Molecular Optical Science【Kato】	II-23

*研究室番号に斜線のある研究室は今回募集をしない。

* We do not accept applications this time for the laboratory number with a diagonal line.

Ⅲ類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category III

系 Section	研究室（教育分野）【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
エネルギー環境学 Energy and	エネルギー流体科学【安養寺】 High-speed Gas Dynamics【Anyoji】	III-1

Environment	エネルギー熱物理学【渡邊（裕）】 Thermal Science and Energy【Watanabe】	III-2
	熱エネルギー変換システム学【宮崎・チョートウ】 Thermal Energy Conservation Systems【Miyazaki・Kyaw Thu】	III-3
	エネルギー移動現象学【－】 Heat Transfer Engineering【－】	
	熱機関工学【－】 Engine and Combustion【－】	
社会空間環境学 Social Space and Environment	都市環境科学【萩島・池谷】 Urban Environmental Sciences【Hagishima・Ikegaya】	III-6
	複雑系社会環境科学【谷本】 Complex Social and Environmental Systems【Tanimoto】	III-7
	建築環境工学【伊藤】 Architectural Environmental Engineering【Ito】	III-8
	環境エネルギーシステム学【ファルザネ】 Energy and Environmental Systems【Farzaneh】	III-9
再生可能エネルギー工学 Renewable Energy Engineering	生体エネルギー工学【東藤】 Bioenergy Engineering【Todo】	III-10
	海洋環境エネルギー工学【胡】 Marine Environment and Energy Engineering【Hu】	III-11
	風力エネルギー工学【吉田】 Wind Energy Engineering【Yoshida】	
	風工学【内田】 Wind Engineering【Uchida】	III-13
流体環境学 Fluid Environment	宇宙流体環境学【松清】 Space Environmental Fluid Dynamics【Matsukiyo】	III-14
	環境流体システム学【杉原】 Environmental Hydrodynamics【Sugihara】	III-15
	水環境工学【エルジャマル】 Water and Environmental Engineering【Eljamal】	III-16
大気環境学 Atmospheric Environment	大気物理【岡本・山本（勝）】 Atmospheric Physics【Okamoto・Yamamoto】	III-17
	気候変動科学【竹村・江口】 Climate Change Science【Takemura・Eguchi】	III-18
	大気環境モデリング【弓本】 Atmospheric Environment Modeling【Yumimoto】	III-19
	非線形力学【－】 Nonlinear Dynamics【－】	
海洋環境学 Ocean Environment	海洋環境物理【時長・市川】 Descriptive Marine Physics【Tokinaga・Ichikawa】	III-21
	海洋工学【－】 Ocean Engineering【－】	
	海洋循環力学【千手・遠藤】 Ocean Circulation Dynamics【Senjyu・Endoh】	III-23
	海洋力学【磯辺・木田】 Ocean Dynamics【Isobe・Kida】	III-24
	海洋モデリング【広瀬】 Ocean Modeling【Hirose】	III-25

*研究室番号に斜線のある研究室は今回募集をしない。

* We do not accept applications this time for the laboratory number with a diagonal line.